

「ぬくもりを届けたい、手から心へ」

たまちゃん通信

令和2年5月発行 No. 341

発行：日本のお手玉の会本部 〒792-0013 愛媛県新居浜市泉池町10番1号

TEL：0897-32-0302 / FAX：0897-32-0311

e-mail: honbu@otedama.jp URL：http://www.otedama.jp

ご当地ことば「ななこ」を紹介

ポプラ社の都道府県別 日本地理で

ポプラ社では、調べ学習に役立つ「ポプラディアプラス」『都道府県別 日本地理』全7巻を出版中です。(写真下) その『近畿地方』版「地域と暮らし」の和歌山県のページに、《ご当地ことば》のコーナーがあり『ななこ』が、次のように紹介されています。

「『ななこ』とは、和歌山県の方言でお手玉のことです。もともと7つの小石で遊んだことから、この名がついたといわれています。お手玉は、地方によっておじゃみ、おだま、いしなごなどたくさんの呼び名があります。」



その解説に加えて、7個のざぶとん型お手玉



と、和歌山のお手玉の会の森勝代会長のお手玉をしている写真が掲載されています。(写真上)



「お手玉の花を咲かせよう！」

和歌山の新聞に昔遊びの体験紹介

和歌山市立貴志南小学校で、このほど、昔遊び体験授業が行われました。その様子が「わかやま新報」に掲載されました。この学校では、和歌山のお手玉の会のメンバーが指導を

担当し、1年生21人がお手玉やこま回しに挑戦しました。森会長は、元小学校の教師で15年前に、「子どもたちが笑顔になる活動をしたい」と、お手玉の会を立ち上げました。

児童は、お手玉を1個握って「かえるのうた」に合わせて演舞をしたり、2個のお手玉で「2個ゆり」の練習(写真左:「わかやま新報」から)をしたりしました。うまくできて「ヤッター」との元気な声が体育館に響きました。また、森会長の「みんなでお手玉の花を咲かせよう！」との掛け声で、児童全員が一斉にお手玉を高く投げ上げ、お手玉の花を咲かせました。

最後に、森教二さんのマジックショーがあり、楽しいふれあい交流会となりました。